



# 平成22年度 通常総会



平成 22 年度通常総会は、梅雨空のもと6月15日(火)、松山市総合コミュニティセンター「キャメリアホール」で会員457名が出席し、中村松山市長をはじめ5名の来賓をお迎えし盛大に開催された。

### 式 次 第

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の言葉</li> <li>2. 理事長あいさつ</li> <li>3. 功労者表彰</li> <li>4. 安全就業スローガン表彰</li> <li>5. 来賓祝辞</li> <li>6. 来賓紹介(祝電披露)</li> <li>7. 賛助会員紹介</li> <li>8. 謝 辞</li> <li>9. 議長選出</li> <li>10. 議事録署名人選任</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 議事           <ol style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 平成21年度事業報告について</li> <li>第2号議案 平成21年度収支報告について<br/>監査報告</li> <li>第3号議案 平成22年度事業計画(案)について</li> <li>第4号議案 平成22年度収支予算(案)について</li> <li>第5号議案 正会員会費規定の一部改正について</li> <li>第6号議案 役員の改選について</li> </ol> </li> <li>12. 役員紹介</li> <li>13. 閉会のことば</li> </ol> |
|--|--|

矢能副理事長が開会を宣言、麻生理事長の挨拶につづき、会員7名の功労者表彰及び会員一名の安全就業スローガン表彰が行われ、そして中村松山市長及び田坂市議会議長から祝辞を賜わり、来賓の紹介、祝電披露に続き、賛助会員(13団体、1名)紹介の後、功労者を代表して清重勝利さんから謝辞が述べられた。

式典終了後、議長に加藤清さんが選任され、「平成22年度事業報告」「平成22年度事業計画(案)など六議案の審議が行なわれ、原案どおり満場一致で承認された。

最後に改選された新役員の紹介につづき、役員を退任された方への花束贈呈、黒田義清さんの退任の挨拶が述べられた。



## 麻生理事長挨拶

### 理事長挨拶

麻生 俊介

通常総会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、社団法人 松山市シルバー人材センターの平成 22 年度通常総会の開催にあたりまして、松山市長さんをはじめ、ご来賓の皆様方には、公務ご多用のところご出席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、会員の皆様方におかれましても例年にも増して多数の方々のご出席を頂き、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の当センターの状況を振り返りますと、当センターは大変厳しい雇用・経済情勢下において「就業機会の確保」を最も重要な課題として位置づけるとともに、「会員の帰属意識の高揚」「理事の経営参画と所掌の明確化」など七項目からなる重点目標を達成するために、会員・役員・職員が一体となって透明性の高い事業運営と安定した運営基盤の確立を目指して、事業の拡充に取り組んで参りました。

その結果、会員数は、今の経済情勢を反映し前年度より 280 名増の、3,065 名になるとともに、事業収入においては受託事業の減少など、高齢者の就業機会の確保が難しくなる中で、国の緊急雇用対策事業や新たな仕事の開拓に積極的な取組みを行った結果、契約金額は、前年度を約 4,000 万円上回る、11 億円に達したところであります。

また、一般会計においては、事業収支ベースで 150 万円の黒字を計上し、介護保険事業においては、前年度より約 1,650 万円増の、2,480 万円の黒字を計上することが出来たところであります。

ここで、改めて、会員・役員・職員の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。

しかしながら、ご承知のとおり、国の事業仕分け作業の結果、今年度を含め二年間に渡り、国のシルバー支援補助金が約 1,200 万円縮減されることが決定し、当センターにとりましては、今後の事業運営に



新たな課題を抱えることになりました。

このような厳しい状況の中、松山市からの補助金につきましては、特段のご配慮とご支援により、前年度と同額を頂くことができ改めて、松山市長さんをはじめ、関係の皆様方に対して厚くお礼申し上げる次第でございます。

また、公益法人制度改革に伴い、当センターでは、学識経験者を加えた検討委員会を設置し、今後のセンターの方針を決定するための協議を進めた結果、平成二十四年度中を目指して、「公益社団法人」に移行すべきとの見解に至り、そのための準備に取り掛かることと致しました。

このように、新たな課題を抱えて平成二十二年度がスタートすることとなりましたが、今後は、シルバー経営の基本理念である、「自主・自立」の精神に基づき、持続可能な経営基盤の確立に向けて、努力してまいりたいと考えております。

そして、会員の皆様方が「入会してよかった。」と思って頂けるセンターづくりを目指して参ります。どうか、会員、並びに、関係機関の皆様方のご理解・ご協力を切にお願い申し上げます。

本日は、この後、平成二十一年度事業報告と収支決算、平成二十二年事業計画と収支予算並びに、役員改選等について、ご審議願うこととなっております。どうか、慎重なご審議を頂き、適切なご決議を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、当センターのますますの発展とご参会の皆様方のご健勝、ご活躍を心から御祈念致しまして平成二十二年通常総会の開会のご挨拶といたします。

会場 会員席



## 功労者・スローガン表彰

長年にわたり当センター会員として就業され、センター事業の発展に貢献されました。七名の方々に対して麻生理事長からその労を謝し、併せて記念品の贈呈がありました。そして、表彰者を代表して清重勝利さんより謝辞が述べられました。



今年度より、会員の皆様より、募った健康と就業の安全啓発に係るスローガンの最優秀作品について表彰が行われました。山崎鐵夫さんの作品が最優秀作品に選出され、麻生理事長より表彰状、記念品の贈呈がございました。

## 最優秀週作品

「これくらい 軽い気持ちが 事故のもと」

## 役員改選

役員（理事・監事）の任期満了に伴い、規程により改選を行った。

理事長	麻生 俊介（再任）	理事	松尾 幸弘（再任）
副理事長	熊野 伸二（再任）	理事	馬淵 卫ツ子(再任)
副理事長	乃万 卓也（新任）	理事	田中 郁夫（新任）
常務理事	水口 一（再任）	理事	中野 幸博（新任）
理事	大原 英記（再任）	理事	松井 正行（新任）
理事	岡本 勉（再任）	理事	持主 桂子（新任）
理事	谷口 和枝（再任）	理事	森 孝謙（新任）
理事	能田 幸生（再任）	理事	山本 昶（新任）
理事	橋本 廣重（再任）	監事	宮内 一夫（新任）
理事	日野 ひとみ(再任)	監事	河野 啓一（新任）

## 新任・退任役員

今通常総会で役員改選が行われ、八名が新任、六名が退任した。

### 新任

 理事 持主 桂子	 理事 山本 昶	 理事 田中 郁夫	 理事 森 考謙
 理事 中野 幸博	 理事 松井 正行	 監事 宮内一夫	 監事 河野 啓一

## 退任

永い間 松山市シルバー人材センターの為に尽力頂き有難うございました。



監事 黒田 義清



監事 池尻 廣重



副理事長 矢能一成



理事 中矢 通



理事 白石 義秀



理事 武田 英之

## 正会員会費規定の一部改正

正会員会費規程の一部を改正し、平成 23 年 4 月 1 日から、年額を現行 1 2 0 0 円から 3 2 0 0 円とする。また、年度途中で正会員となった場合の会費の額は 9 月末までの加入は全額、10 月以降の加入は半額とする。

## その他

### 平成 21 年度事業報告

厳しさの中、前年実績を上回る会員数 3,000 名を突破しました。

### 平成 22 年度事業計画

平成 24 年度に公益社団法人移行をめざす 他

## 収支予算

科 目	予 算 額
受託事業収益	823,543,000
労働者派遣事業等受託収益	12,000,000
介護保険事業収益	258,959,000
受取会費	4,370,000
受取補助金等	107,262,000
受取負担金等	2,026,000
経常収益計	1,208,160,000
事業費	1,195,877,000
管理費	6,689,000
経常費用計	1,202,566,000
当期経常増減額	5,594,000
当期一般正味財産増減額	5,594,000
一般正味財産期首残高	122,386,151
一般正味財産期末残高	127,980,151
正味財産期末残高	127,980,151

平成 22 年度から新しい公益法人会計基準を適用

その他については第 59 号 会報に詳しく掲載しています。